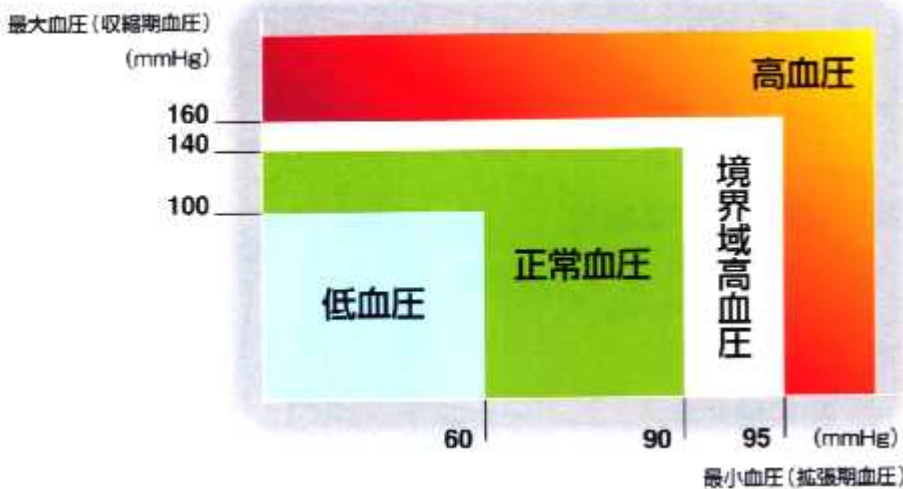




高血圧症

- めまいがする
- 耳鳴りがする
- 頭痛がする
- すぐ息が切れる
- 手足がしびれる
- 顔がほてる
- すぐ汗をかく
- 体がだるい

以上の症状に覚えのある方要注意！



血圧が持続的に高くなることを高血圧といいます。安静にして座って測ったとき、最大血圧で140mmHg以上、または最低血圧で90mmHg以上が持続する場合、高血圧症と診断されます。日本では、約3,000万人の高血圧症患者がいると推定されていますが、実際に十分な治療を受けている方は30%程度しかいないと言われています。

高血圧症を放置しておく？

高血圧症は自覚症状がほとんど無く、直接の死因となることもほとんどありません。しかし、治療をしないままに長期間放置しておく、脳卒中や心臓病、腎臓病などの合併症を起しやすくなり、生命の危険にも関わってきます。そのため、高血圧のことを「サイレントキラー（静かなる殺し屋）」などとも呼んでいます。



高血圧症の治療の意義は？

高血圧症を治療せずに放っておくと、脳卒中の原因となります。また心臓への負担がかかり続けることによって心臓が肥大し、ひいては狭心症、心不全や心臓発作の一因ともなります。したがって、高血圧症と診断された場合には、これらの合併症を未然に防ぐために、治療を続ける必要があります。治療によって血圧が一旦正常値に戻っても、定期的な血圧測定を継続して、コントロール状態を常にチェックすることが大切です。



高血圧の増悪因子

ご相談窓口
信州会クリニック
 東京都中央区日本橋堀留町 1-2-13 信州会ビル 3階
 TEL 03-3662-1166